



令和元年度進捗評価シート
三島市歴史的風致維持向上計画（平成28年10月3日認定）
（最終変更令和元年6月14日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 まち並みと景観形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的風致形成建造物保全整備事業	3
2 史跡等保存活用計画策定・		
2 史跡等総合整備活用事業	4
3 三嶋大祭り補助事業	5
4 三島囃子保存会補助事業	6
5 地域文化財啓発補助事業	7
6 景観重点整備地区内景観形成補助事業	8
7 案内看板統一化事業	9
8 ふるさとガイドの会補助事業	10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用を行うための施設	11
2 文化財の防災	12
3 文化財の保存・活用の普及・啓発	13
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 三嶋大祭り 威勢よく開幕 山車24台の		
1 シャギリ響く ほか	14
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光交流客	15

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	16
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和元年度
現在の状況			
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>●本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に係る都市計画課と郷土文化財室が担当し、各事業担当課と庁内の横断的な連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。</p> <p>●三島市歴史まちづくり協議会は、計画の円滑な実施に係る連絡調整や計画変更の協議及び計画の進捗評価を行う。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>●事務局である都市計画課と郷土文化財室の連携の下、関連事業の主な担当部署である商工観光課との打合せを行った。</p> <p>●令和元年度歴史まちづくり協議会を開催し、計画の進行管理・評価等について協議した。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>■三島市歴史まちづくり協議会の開催状況</p> <p>開催日 令和元年5月21日(火)</p> <p>協議事項 ・三島市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について ・三島市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>▲歴史まちづくり協議会の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p>■三島市文化財保護審議委員会の開催状況</p> <p>【第1回】</p> <p>開催日 令和元年7月9日(火)</p> <p>協議事項 市指定文化財の候補について</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>▲第1回文化財保護審議委員会の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p>■三島市文化財保護審議委員会の開催状況</p> <p>【第2回】</p> <p>開催日 令和元年12月18日(水)</p> <p>協議事項 市指定文化財の保存修理の答申について (三嶋大社舞殿、光安寺 鼻取り地蔵)</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>▲第2回文化財保護審議委員会の様子</p> </div> </div>			





評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
まち並みと景観形成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>●良好な景観の形成に関する施策との連携として、都市計画法に基づき建築物の高さ制限について検討する。</p> <p>●三島市景観計画等との連携として、三島市景観形成基本計画に基づく景観重点整備地区の候補地について、三島市景観条例に基づき順次追加指定を進めて行く。</p> <p>●三島市屋外広告物条例に基づく屋外広告物誘導整備地区の追加指定を行うとともに、同条例の周知に取り組む。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>●県道三島停車場線の電線地中化事業及びアーケード撤去に合わせて、「景観重点整備地区(一番町地区)」(仮称)の指定(令和2年度を予定)を目指し、静岡県景観アドバイザーを招聘した上で、当該地区の現地調査及び地元まちづくり委員会を対象とした勉強会を実施した。</p> <p>◆事業の効果 「景観重点整備地区(一番町地区)」(仮称)の指定に向け、当該地区の現状や今後の方向性について、地元まちづくり委員会との共通認識を形成することができた。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>▲「景観重点整備地区(一番町地区)」(仮称)の周辺区域</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>▲三島駅(南口)方面を見た沿道</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>▲現地調査の様子(1月24日)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>▲景観重点整備地区案内図</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>▲勉強会の様子(1月24日)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>景観重点整備地区(6地区)とは 特に景観形成を図る必要があると認められる地区。景観形成の目標及び基準(建築物の色彩や屋外広告物の掲出基準等)を定めています。</p> </div> </div>			

評価軸③-1

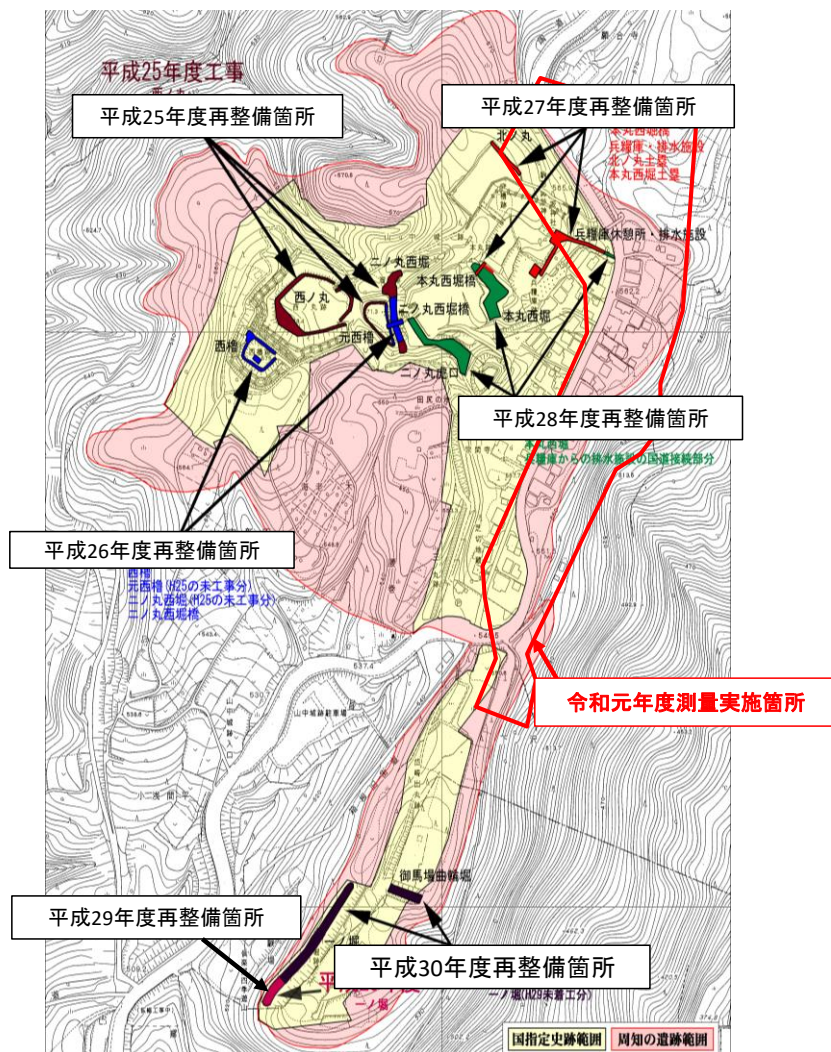
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
歴史的風致形成建造物保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	重点区域内に点在している歴史的建造物(三嶋大社、楽寿館、梅御殿、暦師の館、懐古堂ムラカミ屋等)について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用し、歴史的風致形成建造物の外壁及び屋根等の修繕を行った。</p> <p>○令和元年度実績: 間眠神社の修繕: 402千円補助 懐古堂ムラカミ屋の修繕: 640千円補助</p> <p>◆事業の効果 歴史的風致形成建造物の維持保全を図った。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物については、適切な維持保全が図られるよう、引き続き、補修及び修復を行っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲間眠神社(修繕前)</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <p>▲間眠神社(修繕後)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲懐古堂ムラカミ屋(修繕前)</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <p>▲懐古堂ムラカミ屋(修繕後)</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p>【工事内容】 木戸修理、屋根葺き替え</p> </div>		

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項


		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和7年度		
支援事業名	市内遺跡発掘調査等事業		
計画に記載している内容	山中城跡の調査及び史跡保存活用計画を策定するとともに、計画に基づき、復元整備などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●史跡山中城跡の保存活用計画策定に向け、史跡山中城跡追加指定候補地に係る測量など、基礎データの収集を行った。 ◆事業の効果 史跡山中城跡の保存活用計画策定の土台となる資料の収集を行うことができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	保存活用計画策定に加え、昨年10月の台風19号により山中城跡でも8ヶ所において被災したため、今後3ヶ年で復旧工事を計画しており、人員的にタイトとなっているが、国及び県等からの助言等を受け、復旧を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			



▲史跡山中城跡再整備等図面

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
三嶋大祭り補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和50年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	今後も三嶋大祭りを継続的に開催するとともに、更なる魅力の向上及び情報発信力の向上を図り、保存及び継承に繋げていくため、三嶋大祭りの運営費等の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●三嶋大祭り実行委員会に対し、運営費等の一部を補助した。</p> <p>●事業内容</p> <p>1日目:山車しゃぎり大会、子供しゃぎり大会、当番町山車競り合い 等</p> <p>2日目:頼朝公旗挙げ出陣式及び行列、梯子のり、手筒花火 等</p> <p>3日目:みしまサンバパレード、農兵節パレード、流鎗馬 等</p> <p>●観光客数:1日目(8/15):5万人、2日目(8/16):16万人、3日目(8/17):16万人</p> <p>◆事業の効果</p> <p>交流人口の増加に寄与。本祭りを通じ、農兵節及びしゃぎりなどの伝統文化の普及継承により地域愛の向上が図られた。(令和元年度市民意識調査より/三島に愛着がある86.8%(前年比0.2%増))</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲三嶋大祭り(しゃぎり)の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲三嶋大祭り(流鎗馬)の様子</p> </div> </div>		

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
三島囃子保存会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和55年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	静岡県指定の無形民俗文化財である三島囃子の保存・継承のために、三島囃子保存会の活動費の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●三島囃子保存会の活動費の一部を補助した。</p> <p>●活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへの指導:5子供会 4月から8月頃まで毎週1回 ・練習:適宜開催 ・イベントや大会等への参加:13回 <p>◆事業の効果</p> <p>本事業は静岡県の民俗文化財に指定された当時の演奏曲、演奏技術を後世に伝えることを第一としており、地域の子どもたちに演奏の楽しさを教え、その成果を発表するフェスティバルを企画するなど、次世代への継承活動が着実に進んでいる。</p> <p>また、三島囃子の一部であるしゃぎりの演奏は、三嶋大祭りには欠かせず、本番に向け老若男女が演奏練習を行うことで地域の絆づくりにも寄与している。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	将来の担い手となる子どもたちへの普及活動は必要不可欠な活動であるため、当該補助事業を継続していく。	
状況を示す写真や資料等		
 <p>▲三嶋大祭りでの演奏</p>  <p>▲しゃぎりフェスティバルに出演</p>		

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
地域文化財啓発補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 民俗文化財の伝承のために、歴史研究を行う市民団体と三島市郷土資料館と行政が連携し、市内の民俗文化財に関する調査を実施し、映像や報告書としてとりまとめる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●「石造物調査の会」を年間10回実施し、郷土資料館ボランティアと協働で中郷地域の石造物調査を進めた。
 ●「古文書整理の会」を年間15回実施し、館蔵資料である的場贅川家文書や安久秋山家文書の整理・調査を行った。
 ◆事業の効果
 「中郷地域石造物調査報告書1」、「的場贅川家文書仮目録(2)」の刊行により、郷土学習の基となる情報の集積を進めることができた。また、活動の蓄積により、ボランティアや地域の人々の郷土に対する関心や知識を増進させることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

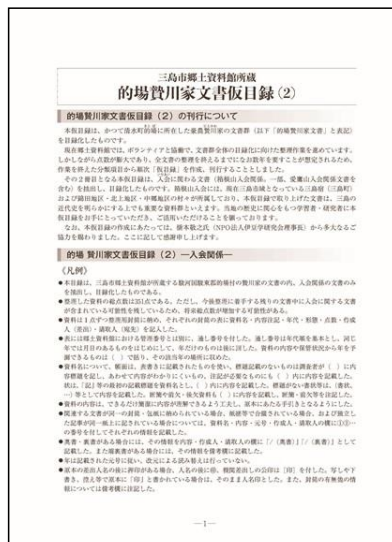
■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

市民ボランティアと連携するとともに、調査は専門的な知識が必要になることから、専門家の意見等を聞きながら、事業を進めていく。また、基本的な調査が実施出来るようになったため、今後は調査の精度とペースを上げられるよう、さらに経験を重ねていく。

状況を示す写真や資料等



▲調査内容をまとめた冊子



▲的場贅川家文書仮目録(2)



▲石造物調査の様子

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
景観重点整備地区内景観形成補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成12年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	三島市景観重点整備地区において、建築物を行為の制限に適合させるための工費の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●良好な景観形成のため、景観条例・景観計画に基づく景観重点整備地区内の建築等について補助を行った。 ○令和元年度実績:「源兵衛川地区」内の建築物の大規模修繕:1件(1,000千円補助) 「蓮沼川(宮さんの川)地区」内の建築物の外観の変更:1件(779千円補助)</p> <p>◆事業の効果 行為の制限に適合した建築や、改修などが促進され、景観重点整備地区内の価値と魅力の向上を図った。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該補助事業の周知を図るために、広報みしまでの周知をするとともに、対象となる世帯に資料を配布する。	
状況を示す写真や資料等		

【源兵衛川地区】



▲外観修景(実施前)



▲外観修景(実施後)

【工事内容】

外壁塗装、屋根葺き替え

【蓮沼川(宮さんの川)地区】



▲外観修景(実施前)



▲外観修景(実施後)

【工事内容】

外壁塗装、屋根葺き替え

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
現在の状況			
案内看板統一化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的な建造物等を案内する既存の案内看板について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化など案内看板の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>●静岡県・三島市・清水町の「水の郷構想」に基づき、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用し、清住緑地から水の苑緑地を結び、歴史的建造物等(千貫樋を含む)を含んだウォーキングコースの策定を行うとともに、多言語化した看板(1件)(既存の案内看板と表記方法や意匠を統一)を設置した。</p> <p>◆事業の効果 国内外の利用者への案内機能の向上を図った。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>▲ウォーキングコース</p> <p>◀大型案内看板(清住緑地)</p>			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
ふるさとガイドの会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成3年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市への来訪者に、市の歴史や人々の伝統的な活動についてボランティアで案内する「ふるさとガイドの会」について、ボランティアガイド養成のための費用を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●ふるさとガイドの会に対し、補助金を支出した。</p> <p>●活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイド技術向上や他市町ガイド団体との交流のため、広域ガイド団体が主催する研修会等に2回参加した。 ・一般向けフィールドワーク「ふるさとみしま歴史探訪」を2回実施した。 ・市内小中学校等の学習活動(出前講座等)に協力した。 ・案内人数3,435人、案内件数237件 <p>◆事業の効果</p> <p>担い手育成の養成講座等により、会員総数(71名/R2.4.1現在)は維持されている。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ボランティアガイドの高齢化が進行しており、担い手育成及び確保をするため、2年に1回、ボランティアガイド養成講座を主催していく。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>◀ふるさとガイドの会活動の様子① (ふるさとみしま歴史探訪) (令和元年11月24日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>◀ふるさとガイドの会活動の様子② (富士山の日「富士山を眺めて三島の古墳群を訪ねる」) (令和2年2月23日)</p> </div> </div>		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>●本市には、文化財等を保存し、情報発信をしている三島市郷土資料館を筆頭に、多くの施設があり、来訪者の歴史学習、史跡や文化に対する意識の醸成に寄与する機能を担っている。</p> <p>●案内板や誘導サインの表示の統一化と多言語化を行うとともに、情報発信をするガイダンス施設の整備を図る。</p> <p>●国指定文化財の山中城跡については、経年劣化という課題を抱えていることから、山中城跡の調査及び保存・活用を図る保存活用計画の策定を行うとともに、計画に基づき復元整備を行っていく。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●三島市郷土資料館事業</p> <p>1 企画展</p> <p>2019/4/27～9/1「バック・トゥ・ザ・ミシママチ！」22,220人</p> <p>2019/9/21～12/15「絵図・古文書で見る箱根八里」15,098人</p> <p>2020/1/3～3/29「自然と生きる～水・竹・ワラ・石～」17,970人</p> <p>(2020/1/7～2/16三島市×「刀剣乱舞-ONLINE-」コラボスタンプラリー特別企画「写し 刀剣展示in三島市郷土資料館」展)</p> <p>2 教室・講座</p> <p>(1) 郷土教室 5月～翌3月までの主に土・日曜日、月1～3回程度 全20回(計画22回、中止2回) 1,349人</p> <p>(2) その他</p> <p>企画展開連講演会1「箱根八里の公用人馬継立の制度と実態」2019/11/2 31人</p> <p>企画展開連講演会2「再顧！箱根関所～箱根関所設置400年を迎えて～」2019/11/30 22人</p> <p>ボランティア講座1伝統的な職人の仕事の見学 2019/9/4、9/5 計10人</p> <p>ボランティア講座2「静岡県の活火山を比較してみよう」2019/12/15 22人</p> <p>富士・沼津・三島3市博物館講座「狩りに生きた箱根・愛鷹の人々」2020/2/11 67人</p> <p>3 刊行物</p> <p>郷土資料館だより124～126号 各号1,000部 / 企画展図録 絵図・古文書で見る箱根八里 600部</p> <p>中 鈴木家文書史料集1 180部 / 三島市郷土資料館研究報告12 180部</p> <p>●案内看板の表示の統一化及び多言語化は、P9 案内看板統一化事業を参照</p> <p>●史跡山中城跡再整備事業</p> <p>平成24年度に実施した基本設計に基づき、平成25年度から30年度に再整備工事を実施した。</p> <p>令和元年度は、史跡山中城跡の保存活用計画策定に向け、未指定地の測量など基礎データの収集を行った。</p> <p>(P4 史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業を参照)</p> <p>◆事業の効果:三島の歴史・文化に興味を持ってもらうとともに、地元への愛着を育む手助けができた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	講座・教室等についてはこれ以上開催回数を増やすことは難しくなっているため、質の向上に努め、また、楽寿園のイベントや他団体との連携を深めることで満足度や参加者・入館者を増やすよう工夫をしていく。また、地域の文化財の散逸、多言語化、インターネット上での情報提供などの新たな課題が出てきているため、それらへの対応の準備を進める。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲郷土資料館だより</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲企画展チラシ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲教室の様子</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>※「史跡山中城跡再整備事業」及び「案内看板の表示の統一化」はP4及びP9を参照</p> </div>		

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>●文化財のうち有形文化財は、火災、地震、落雷、水害、台風等の災害により毀損、滅失する恐れがあることから、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討し、被災リスクの軽減を図ることが求められる。</p> <p>●美術工芸品などの有形文化財は、盗難に遭わないよう防犯設備設置を推奨するとともに、所有者の防犯に対する意識向上を図る。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●文化財防火デーにあわせ、三嶋大社、楽寿館、佐野美術館、三島市郷土資料館で防災訓練を実施した。</p> <p>●国登録有形文化財について、富士山南東消防本部による防火設備の設置状況の確認を行った。</p> <p>●中部歴史まちづくり防災連携事業として、名古屋市の名古屋城南東櫓において、文化財の防災対策状況等を視察した。</p> <p>◆事業による効果 防災訓練や見回り強化等の防犯対策を実施することにより、防災及び防犯の意識が醸成された。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>防災訓練を継続することが必要であるため、引き続き、市内の文化財所有者に対し、防災訓練の実施状況調査に係る通知を送り、訓練実施を呼びかけていく。</p>	
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>▲三嶋大社本殿からの出火を想定した消防訓練 (令和2年1月22日)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>▲楽寿園内の楽寿館からの出火を想定した消防訓練(令和2年1月24日)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>▲佐野美術館職員による消火器訓練 (令和2年2月7日)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>▲名古屋城南東櫓における現地視察 (令和2年2月21日)</p> </div> </div>		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>●本市に分布する文化財のパンフレット作成や市ホームページの充実を図る。</p> <p>●市民の文化財に対する理解を深める機会の創出に繋げるため、発掘調査、整備工事、建造物修理の現場説明会などを随時実施する。</p> <p>●観光ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催などにより、文化財の普及・啓発を図る。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>●地域の郷土研究会である錦田郷土研究会が編集・発行した「ふるさと再発見～錦田地区＝語り継ぎたい郷土のこと＝」のリーフレットについて印刷費の補助をした。また来城者から要望の多かった携帯版「山中城跡案内マップ」を発行し、在庫が少なくなった「史跡山中城跡 花あるき」、「箱根旧街道」のリーフレットについてはリニューアル増刷した。</p> <p>●山中城跡に関心を持ってもらうことを目的に、ガバメントクラウドファンディングを実施し、寄附者限定で人気の障子堀に入るイベントを実施した。また他課からの要請により、小学生対象の学習会や健康増進関連のイベントを実施した。</p> <p>◆事業の効果</p> <p>地域の歴史や文化財を一番知っているのは地域に住む人であり、これらの人たちが自分たちの住む地域の歴史や文化財について知っていることをまとめたリーフレットの作成は、郷土愛を深める効果がある。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<p>■計画どおり進捗している</p> <p>□計画どおり進捗していない</p>		<p>さらに、市民の文化財に対する理解を深める機会の創出に繋げる必要があることから、行政で作るリーフレットと並行して、今後も地域で活動している歴史研究会が編集・発行するリーフレットについても、予算の範囲内において印刷費の補助を行う。</p>	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>■錦田の成立 昭和16年(1941)4月29日、錦田村と三島町が合併して三島市が誕生しました。 もともと錦田村は、近世の村集まり、明治22年(1889)市町村制施行時に成立した村です。 この村名は昔、川原ヶ谷と坂ヶ谷新田(塚原・市山・三ツ谷・笹原・山中)を併せて「錦ノ郷」。谷田ほか4村(御門・夏梅木・小山・竹倉)を「谷田郷」といったので、両郷の文字を組み合わせて「錦田村」と名付けられました。</p> <p>■錦田の地勢 錦田村は、箱根西麓の丘陵地帯と大場川の中流の平地および川西側の中地区とで構成されています。 錦田村の大部分を占める箱根西麓は、肥沃な関東ローム層という土で覆われているため、明治期以降に開墾が進み、ジャガイモ・大根・ニンジン・ゴボウなどの根菜類やハクサイ・キャベツ・レタスなどの野菜類が豊かに実ります。 また、平坦地の大場川に流れ込む山田川・夏梅木川の流域は、豊かな水田が広がっており、竹倉地区には、箱根山麓から湧き出る湧水群と温泉があります。 昭和40年代(1965)以降に開発が進み、団地や観光施設などが建設されて急速に変貌を遂げました。 箱根新道(国道1号)の開通に伴い、関連道路も整備され、三島市街や三島駅が近くなり、宅地化も進み、初音台・小山台・桜ヶ丘・三恵台・錦が丘などの住宅地が形成されました。</p> <p>■錦田の主な名所・文化・遺跡 歴史と貴重な文化財など特徴ある風俗・習慣が引き継がれている錦田地域は、四季折々の豊かな自然環境と伝統を守る住民により、さらなる発展が期待されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国指定史跡「山中城跡」の障子堀と紋堀 ② 国指定史跡「箱根旧街道」の石畳と一里塚 ③ 県指定史跡「向山古墳群」 ④ 日蓮宗の本山「玉澤妙法華寺」 ⑤ 三島七石「宝樹院の笠石」「山田川の鬼石」 ⑥ 日本最長 富士を望む大吊橋「スカイウォーク」 ⑦ 観光複合施設「伊豆フルーツパーク」 ⑧ 碑文が刻まれた竹倉の「屏風岩」 ⑨ 竹倉の湧水、温泉 ⑩ 桜ヶ丘の桜並木 ⑪ 国立遺伝学研究所の桜(毎年4月に一般公開) ⑫ 三島の冬の風物詩「大根干し」 </div> <div style="width: 50%;"> <p>ガバメントクラウドファンディング 寄附受付期間:9月1日～11月30日、イベント実施日:11月9日(土) 寄附金額:1,823,600円、申込者:198人、イベント参加者:101人</p>  <p>▲寄附金で作ったのぼり旗</p>  <p>▲寄附者限定イベントの様子</p>  <p>▲携帯用の山中城跡案内マップ(A4判)</p>  <p>▲市内小学生を対象にした山中城跡の学習会</p>  <p>▲リニューアル増刷したリーフレット</p>  </div> </div>			
<p>▲錦田郷土研究会が編集・発行したリーフレット</p> <p>▲リニューアル増刷したリーフレット</p>			

効果・影響等に関する報道

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

[illegible]

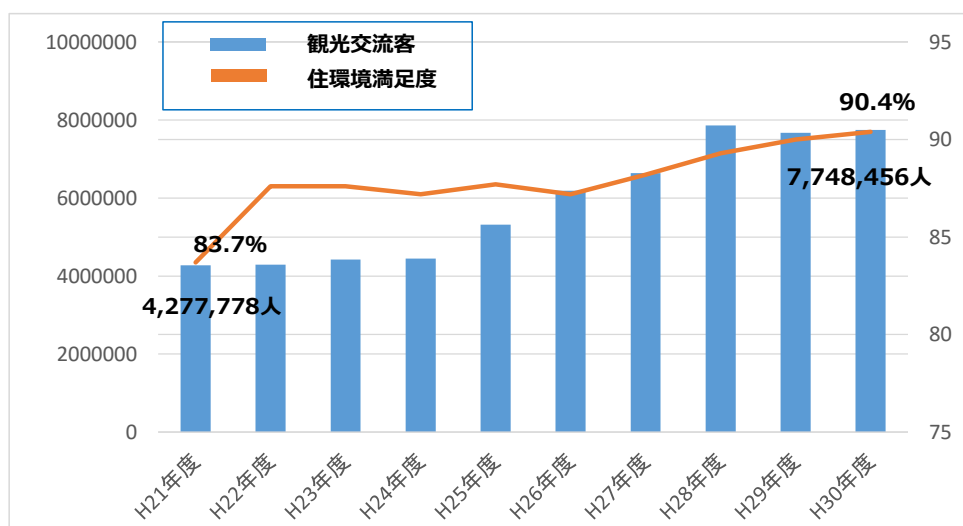
◀ 静岡新聞
2019/8/18

評価軸⑥-1

その他(効果等)

		評価対象年度	令和元年度
項目			
観光交流客			
計画に記載している内容	市民及び観光客に向けて多様な媒体を活用した積極的な情報発信を行うことにより、観光客の増加に繋げるとともに、市民の本市歴史的資源への認識と意識の向上に繋がり歴史的風致の維持向上が期待される。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
●伊豆の玄関口という地勢や三嶋大社などの歴史資源及び文化資源に加え、街の景観向上整備や特産品の積極的なPR活動の成果として、観光交流客数は増加傾向にある。 ●平成30(2018)年度の観光交流客数は約775万人(前年度比9.7%増)、市民の住環境に対する満足度は前年比0.4ポイント上昇した。 ※観光交流客数は、現在と同じ統計手法となった平成21(2009)年度対比で約340万人増加している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等



▲観光交流客数等の推移

【数値参照元】

観光交流客数:「平成30年度 静岡県観光交流の動向」を参照

住環境満足度:「平成30年度 三島市 市民意識調査 報告書」を参照